

## 帝京学園短期大学 チェックリスト

現在山梨県では、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急事態措置の一定の効果を認め、いったん緊急事態措置は解除となっています。

本学では5月中は学生に対して遠隔授業にて課題等を課していましたが、6月1日以降の授業再開に向けて学内でのチェックリストを作成し、学生の皆さんと教職員が互いに注意を喚起しながら感染拡大を防ぐ措置を講じていきます。

## 【ガイドライン項目】

本学は、ガイドラインの作成において以下の内容に準拠するとともに、学内、各教室における感染防止対策が効果的となるよう、可能な限り具体的に場所、取り組み等を記載する

## 【3密の回避】

<p>① 換気設備の設置等（「密閉」の回避） 〔いずれかを満たすこと〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義教室を1学年2教室に分ける。講義形式は講義室301に収容100人のところ25人程度、多目的室を25人程度とする。また、演習形式は小児保健演習室、調理室にそれぞれ25人程度とする。</li> <li>・教室、トイレ、玄関などは窓を開け、換気によって必要換気量を確保する、授業時間内は2方向の窓を全開するなどの方法で必要換気量を確保する。</li> </ul>
<p>② 施設内の混雑の緩和（「密集」の回避）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者の制限などにより混雑度を管理する。学校のはじまり、終わりには入口に教職員が立ち、昇降口に同時に3人以上は入場させない。</li> <li>・滞在時間の制限を厳格に行い、1・2年生が同時に多数集まらないようにする。</li> <li>・授業教室の設定やトイレの位置を決め、施設内で過度に人が密集する機会を減らす。また、トイレは一度に多人数集まらないように使用できる便器などを制限する。</li> </ul>
<p>③ 人と人の距離の確保（「密接」の回避）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内の机の距離は最低2m確保し、対人距離を確保する。また休憩時間も必ずマスクを着用し、近接した場面を作らないように規程を新たに設ける。</li> <li>・席の配置を決め、使用基準を定める。</li> <li>・一人あたりの専有面積を最低4㎡として施設内の人数を制限する。基本はお互いの手を伸ばした距離を最低保つこととする。</li> <li>・教員と学生とが対面する場合、必ず教員はフェイスシートを着用して授業を行う。</li> </ul>

	・近距離での会話や発声を避けるようルールを設定する。
--	----------------------------

【その他の感染防止対策】

④ マスクの着用	・マスク着用について、まず教職員が遵守するとともに、学生にも周知する。市販のマスクが手に入らない場合は布や紙などの自家製マスクの作り方を指導する。
⑤ 手洗い・手指消毒	・教職員は定期的に、学生は入場時に、手指消毒、手洗いを実施すること。
	・入口に消毒設備を設置して、利用者の手指消毒を促す。
	・教職員及び学生は、授業開始・終了時や、他者の接触が多い場所に触れた後、トイレの利用後などには必ず手指を消毒する。
⑥ 体調チェック	・教職員に対して、業務開始前に検温・体調確認を行う。発熱（例えば平熱より1度以上）や、軽度であっても風邪症状（咳や喉の痛みなど）、嘔吐・下痢等の症状がある場合には、出勤を停止すること。
	・学生に対して、発熱（例えば平熱より1度以上）や、軽度であっても風邪症状（咳や喉の痛みなど）、嘔吐・下痢等の症状があれば入校しないように呼びかけるとともに、原則として、入口で検温表をもとに入場者への体調確認を行うこと。
	・滞在時間の長さや他の感染防止対策の状況によっては、検温を行うこと。
⑦ トイレの衛生管理	・不特定多数が接触する場所（便座、スイッチ、洗浄レバー等）は、定期的に清拭消毒を行う。
	・トイレの使用後は蓋を閉めて水を流すように掲示を行う。
	・トイレにはペーパータオルを設置する。また教職員及び学生に個人用にタオルを準備するよう伝える。
⑧ 休憩スペースのリスク軽減	・一度に休憩する人数が多くならないように、荷物を置く場所や休憩場所は対面での会話を避け、指定された席で休憩すること。
	・学内では常時換気を行い、共用する物品は職員が定期的に消毒する。
⑨ 清掃・消毒	・事務職員や清掃当番などが協力し、1日の終わりには共用する物品や複数の人の手が触れる場所を高濃度エタノールや市販の界面活性剤含有の洗浄剤、漂白剤を用いて清拭消毒する。
	<高頻度に接触する部位> テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、蛇口、手すり、エレベーターのボタンなど
	・事務職員(清掃担当)は、鼻水や唾液などが付いたゴミは、ビニ

	ール袋に密閉して捨てること。ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用し、脱いだ後は石けんで手を洗う。
⑩ 公共交通機関を使っでの通学	・混雑する時間をなるべく避けるとともに、大声での密接な会話などが周囲の方々に迷惑にならないよう、十分注意して登校すること。